

Duo Recital

Natsumi Tamai & Wataru Hisasue

ヴァイオリン

ピアノ

玉井 菜採 & 久末 航



© Ayane Shindo



© Janine Guldener

C. Ph. E. バッハ

ヴァイオリンと鍵盤楽器のためのソナタ ハ短調 Wq78 H514

Carl Philipp Emanuel Bach : Sonata for Violin and Keyboard in C minor Wq78 H514

ベートーヴェン

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第5番 ヘ長調「春」 Op. 24

Ludwig van Beethoven : Sonata for Piano and Violin No.5 in F Major "Spring" Op.24

シュニトケ

古い様式による組曲

Alfred Schnittke: Suite in the Old Style

レスピーギ

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ロ短調 P110

Ottorino Respighi : Sonata for Violin and Piano in B minor P.110

2025

2月24日(月・祝)

pm2:00 開演 (1:30 開場)

トッパンホール

文京区水道1-3-3 ☎03-5840-2200

¥ 4000 (全自由席)

● チケット取扱い

トッパンホールチケットセンター ☎ 03-5840-2222

チケットぴあ Pコード 285772

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

● お問い合わせ/チケット取扱い

スピカ ☎03-3978-6548 ✉ spica@sepia.ocn.ne.jp

主催 スピカ

玉井 菜採 Natsumi Tamai (ヴァイオリン)



© 尾形正茂

桐朋学園大在学中にプラハの春国際音楽コンクールに優勝、併せて審査委員長特別賞を受賞。

同大学卒業後、渡欧。アムステルダム・スウェーリンク音楽院、ミュンヘン音楽大学にて研鑽を積む。この間、J.S.バッハ国際コンクール、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに優勝、入賞。

これまでにロシア・ナショナル管弦楽団、NHK交響楽団等、国内外の主要オーケストラとの共演、リサイタル開催と、ソリストとして日本とヨーロッパで活発な活動を展開。室内楽奏者としての信頼も厚い。紀尾井ホール室内管弦楽団のコンサートマスター、東京クライスアンサンブルのメンバー、アンサンブルofトウキョウのソロヴァイオリニストも務める。

文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞、平和堂財団音楽奨励賞、音楽クリティッククラブ奨励賞、ABC音楽賞クリスタル賞、京都府文化賞奨励賞など受賞している。

現在、東京藝術大学音楽学部教授。

使用楽器は東京藝術大学所蔵の Stradivarius “Ex-Park” (1717年)。

久末 航 Wataru Hisasue (ピアノ)



© Janine Guldener

2017年、ミュンヘン国際音楽コンクールで第3位および委嘱作品特別賞を受賞し、一躍注目を集める。

14歳でリサイタルを開催し、青山音楽新人賞を受賞。滋賀県立膳所高校を卒業後、渡欧。フライブルグ音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学を、それぞれ最優秀の成績をもって修了。

この間、リヨン国際ピアノコンクール第1位および聴衆賞、メンデルスゾーン全ドイツ音楽大学第1位および特別賞など受賞多数。24年のゲザ・アンダー国際ピアノコンクールでは、審査員によって授与される2つの特別賞（ベートーヴェン賞およびリスト・バルトーク賞）受賞。これまで、AUDI 音楽フェスティバル、ヴェルツブルグ音楽祭はじめ数々の音楽祭に出演。バイエルン放送交響楽団、シュツットガルト室内管弦楽団、東京都交響楽団などと共演。コンツェルトハウス・ベルリン、紀尾井ホールをはじめ国内外でリサイタルを多数開催。

平和堂財団芸術奨励賞、青山音楽賞バロックザール賞を受賞。

現在、ベルリン在住。



スピカはおとめ座の一等星、ラテン語で“麦の穂”を意味します。

‘気軽に足を運び、心から楽しめるコンサート’を目指し、スピカは1990年に手作りコンサート活動をスタートしました。

踏まれても踏まれても伸びていく麦、
頭を垂れずまっすぐに天に向かって伸びていく麦の穂のようでありたいと願っています。